

吹付けアスベスト粉じん飛散防止処理剤

アスベスト除去用 粉じん飛散抑制剤

# ニューダイロック<sup>TM</sup> #500W

## NEW DAIROCK

除去処理時の吹付けアスベスト粉じんの飛散を抑制  
無機質水系で優れた浸透性、高い安全性を実現

珪酸塩（無機）系「アスベスト粉じん飛散抑制剤」です。除去工事の際は、事前に粉じん飛散抑制剤「ニューダイロック#500W」を散布・浸透させて湿潤化してから除去作業を行います。除去作業全般で使用することができ、除去作業中の「作業環境抑制・空中散布剤」および除去後の「残存繊維固化剤」としても効果を発揮します。

珪酸塩（無機）系

吹付けアスベスト除去処理工法

除去前

## アスベストの湿潤化

粉じん飛散抑制剤（ニューダイロック5倍希釈液）散布

除去作業前にアスベストを湿潤化して粉じん飛散を抑制します。  
アスベストの飛散を抑えるため散布はエアレススプレーガンで行います。  
試験的に粉じん飛散抑制剤を散布し、抑制剤の浸透状況、散布量等を確認して下さい。

湿潤化で飛散抑制 浸透性 安全性 作業性

除去時

## アスベストの除去作業

作業環境抑制・空中散布剤（ニューダイロック5倍希釈液）散布

除去作業環境に散布し、粉じん飛散を抑制します。  
ケレン棒、スクレーパー等により吹付けアスベスト材の除去を行います。

空中散布で作業環境抑制 安全性 作業性

除去後

## 残存繊維の固定化

残存繊維固化剤（ニューダイロック原液）塗布

除去後の除去処理面に塗布し、残存アスベスト繊維を下地に固定化します。  
固定化により残存アスベスト繊維の飛散を防止します。  
施工はエアレススプレーガン、ローラー等で塗布できます。

固定化による飛散防止 安全性 作業性



吹付けアスベスト粉じん飛散防止処理剤

アスベスト除去用

粉じん飛散抑制剤「ニューダイロック<sup>TM</sup>#500W」

アスベストへの浸透性

## 浸透性

除去前 除去時 除去後

吹付けアスベストへ速く、深く浸透  
散布後、長時間湿潤状態を保持

取扱いが容易で安全

## 安全性

除去前 除去時 除去後

無機質水系で有機溶剤を含まない  
保護メガネ、マスク等が曇らない

良好な作業性

## 作業性

除去前 除去時 除去後

エアレススプレーガンで施工  
無臭、一液タイプで取扱い容易

○除去処理工事の実施にあたっては、大気汚染防止法、労働安全衛生法等の関係法令等を遵守し、適切に施工を行って下さい。

○粉じん飛散抑制剤「ニューダイロック#500W」を取扱う前に製品安全データシート(MSDS)をお読み下さい。

## ■薬剤の標準使用量

粉じん飛散抑制剤 (5倍希釈液) <sup>*2</sup>		作業環境抑制・空中散布剤 (5倍希釈液) <sup>*2</sup>		残存繊維固化剤 (原液)	
標準散布量 <sup>*1</sup>	1.5kg/m <sup>2</sup>	標準散布量	0.1~0.3kg/m <sup>3</sup>	標準塗布量	0.1kg/m <sup>2</sup>
吹付けアスベスト層の厚み	10~15mm				
標準施工面積	60m <sup>2</sup> /18kg缶	標準施工面積	450m <sup>3</sup> /18kg缶	標準施工面積	180m <sup>2</sup> /18kg缶

成分：無機質水系(VOC成分を含まない)珪酸塩 荷姿：粉じん飛散抑制剤「ニューダイロック#500W」18.0kg/缶

※1 吹付けアスベストの種類、厚み等により増減します。 ※2 粉じん飛散抑制剤「ニューダイロック#500W」は、希釈倍率5倍以下で使用して下さい。

○除去作業は、薬剤の散布終了後10分程度放置してから行い、作業は6時間以内に行って下さい。(6時間経過および湿潤不足の場合は再塗布して下さい)

○現場の状況により薬剤の使用量が変動しますので、あくまでも目安として下さい。


**ダイソーケミカル株式会社** 化工機器営業部

## ■本社

〒550-0002 大阪市西区江戸堀1丁目10番8号  
TEL. 06-6448-1541 FAX. 06-6448-1898

## ■東京オフィス

〒104-0033 東京都中央区新川1-17-24 ロフター中央ビル  
TEL. 03-3537-8541 FAX. 03-3552-8714

## 取扱店

①大塚刷毛製造株式会社

本社 〒160-8511 東京都新宿区四谷4-1 TEL 03(3359)8724 FAX 03(3352)2915  
URL <http://www.maru-t.co.jp>